

# 平成25年度SSHニュース 岡山理科大学附属高校 No.7

## 宮島自然探究研修 2013年7月24日

場所：広島大学大学院理学研究科附属宮島自然植物実験所  
(広島県廿日市市宮島町三ツ丸子山)

実施日：平成25年7月22日(月)～23日(火) 1泊2日 参加生徒12名(男11、女1)

講師：坪田 博美 准教授、大学院生TA1名

目的：自然保護された本来の自然が残る宮島で日本の植生を学習する。自然探究のための知識や野外活動の技能を習得する。

行程：7月22日

岡山6:57発－宮島着10:55－実験所12:00、講義12:30-14:20宮島の植物、14:30-16:30施設見学・植物観察、17:00-18:40夕食づくり、自然探究活動打合わせ20:00-20:50、消灯22:30

7月23日

6:00朝ご飯・弁当づくり、植物観察と探究活動8:50発－多々良10:00－弥山仁王門(420m)11:30昼食－大元谷ルート下山－14:10水族館前到着－フェリー15:10－宮島口発15:43－岡山着19:15



図1. 講義や施設見学。ここには世界に誇るコケの標本が保存されています。野外では森の植物の説明を受けました。2日間で100種類を超える植物を見ました。



イワタイゲキ

図2. イワタイゲキ(トウダイグサ科)  
広島県準絶滅危惧(きく)種。毒性がありシカの食害にあわない。根は漢方薬の「大戟」として利用され、解毒作用があり、虫毒をとる。腹水、水腫、中風や皮膚の疼痛にも効果があるとされる。



図3. 夕食はみんなで協力して自炊、カレーをつくりましたが、これも大学生の研修で必要です。

生徒の感想：

- ・宮島は厳島神社など世界遺産とっていたけど、自然が豊かで驚いた。
- ・シカやコシダが自然に与える影響の話には興味をもった。
- ・実際に森を案内してもらって、実際のことが少し分かった。